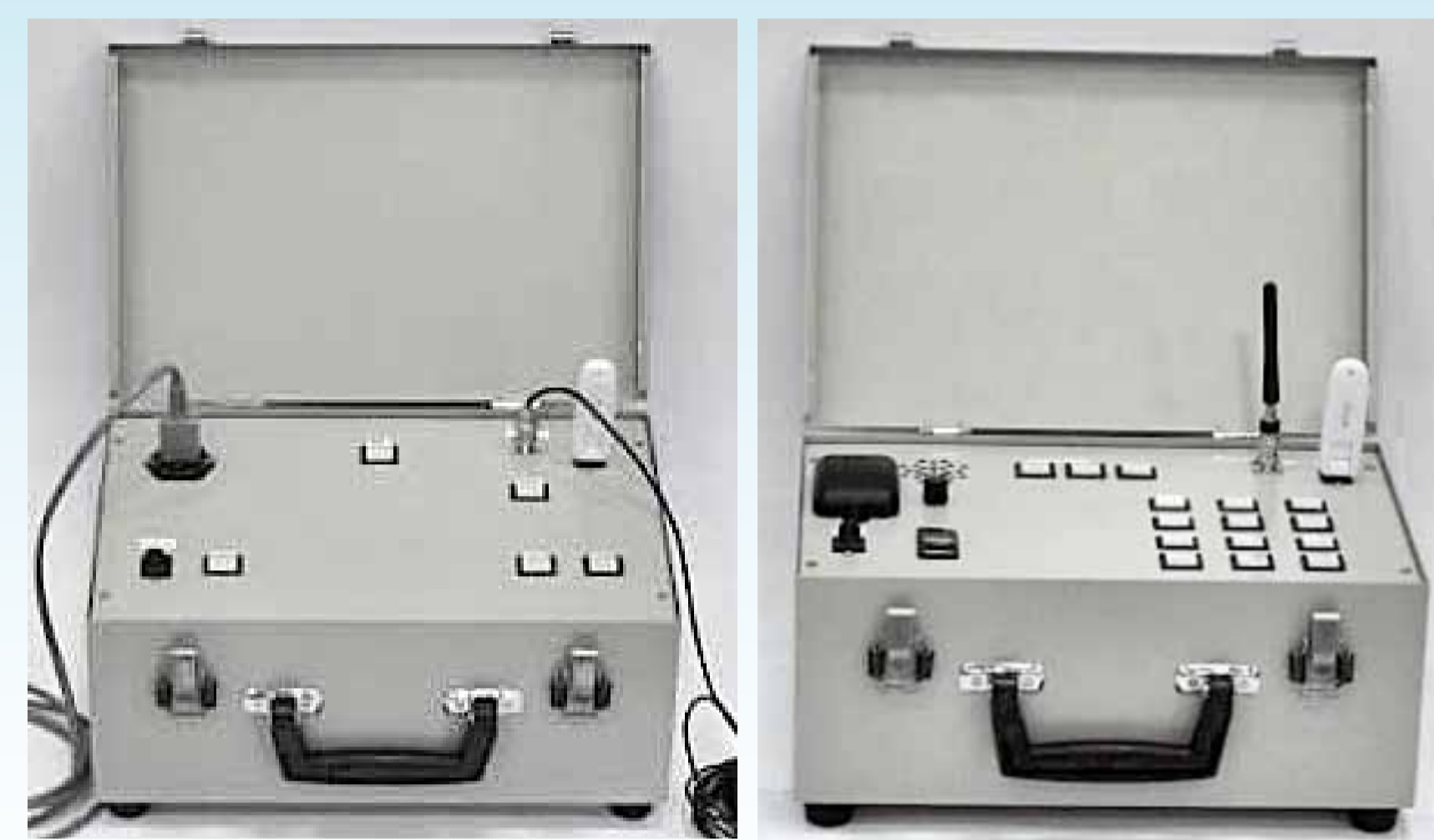


センス調査装置

高圧配電線路の相を把握 できるため、電圧不平衡の 改善に役立ちます

背景・目的

- 太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの大量普及に伴い、配電システムを適正な電圧で管理することがこれまで以上に重要となっており、その取組の一つに電圧不平衡の改善があります。これまでは、高圧配電線路の相を目視で確認していましたが、容易に識別できる「センス調査装置」を活用して接続相を把握し、電圧不平衡の改善に努めています。



①周期基準器

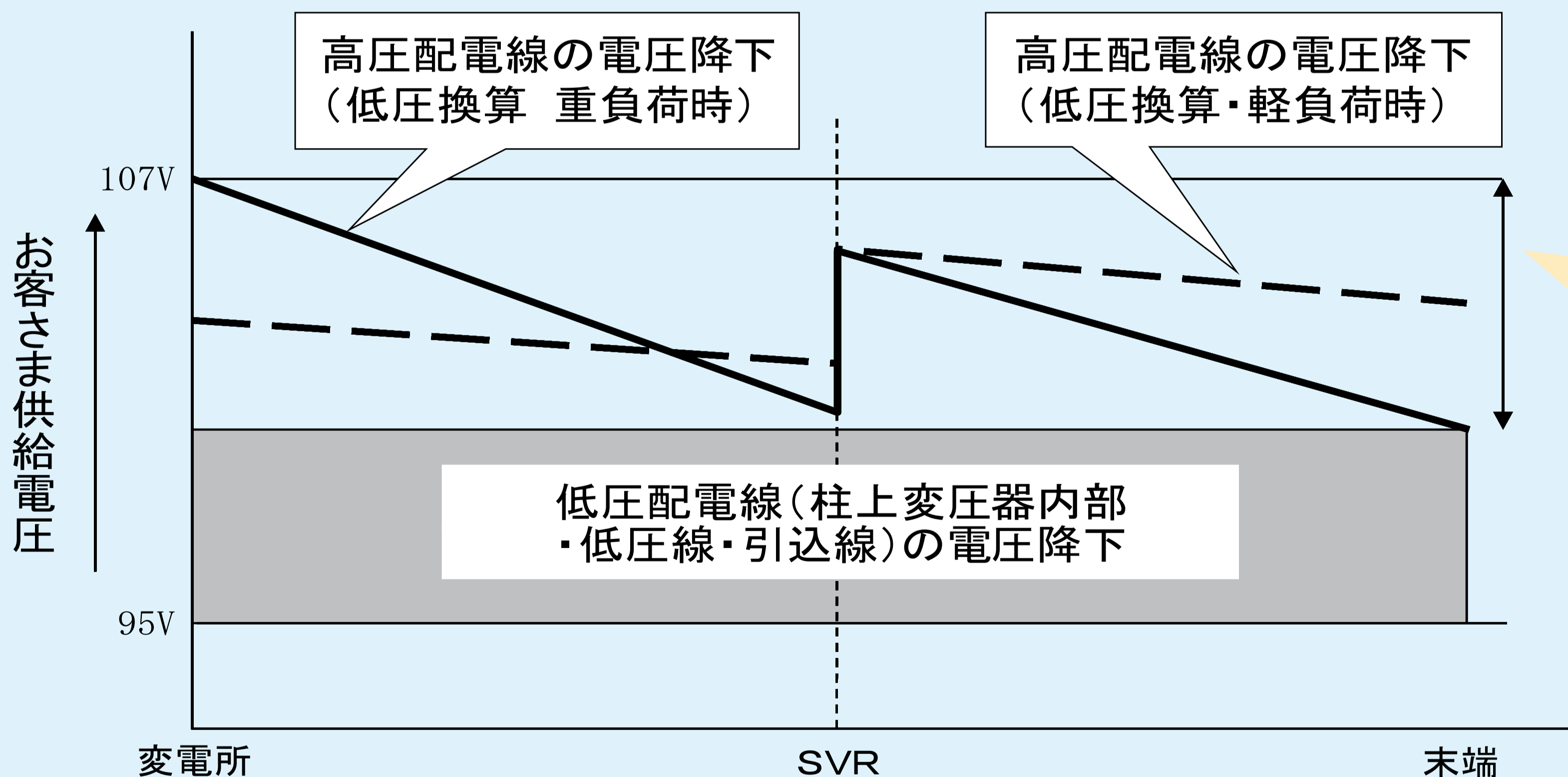
②判別表示器

特長

- 高圧配電線の相を識別するのが容易
- 地上から調査が可能
- 電波の利用により、コードレス

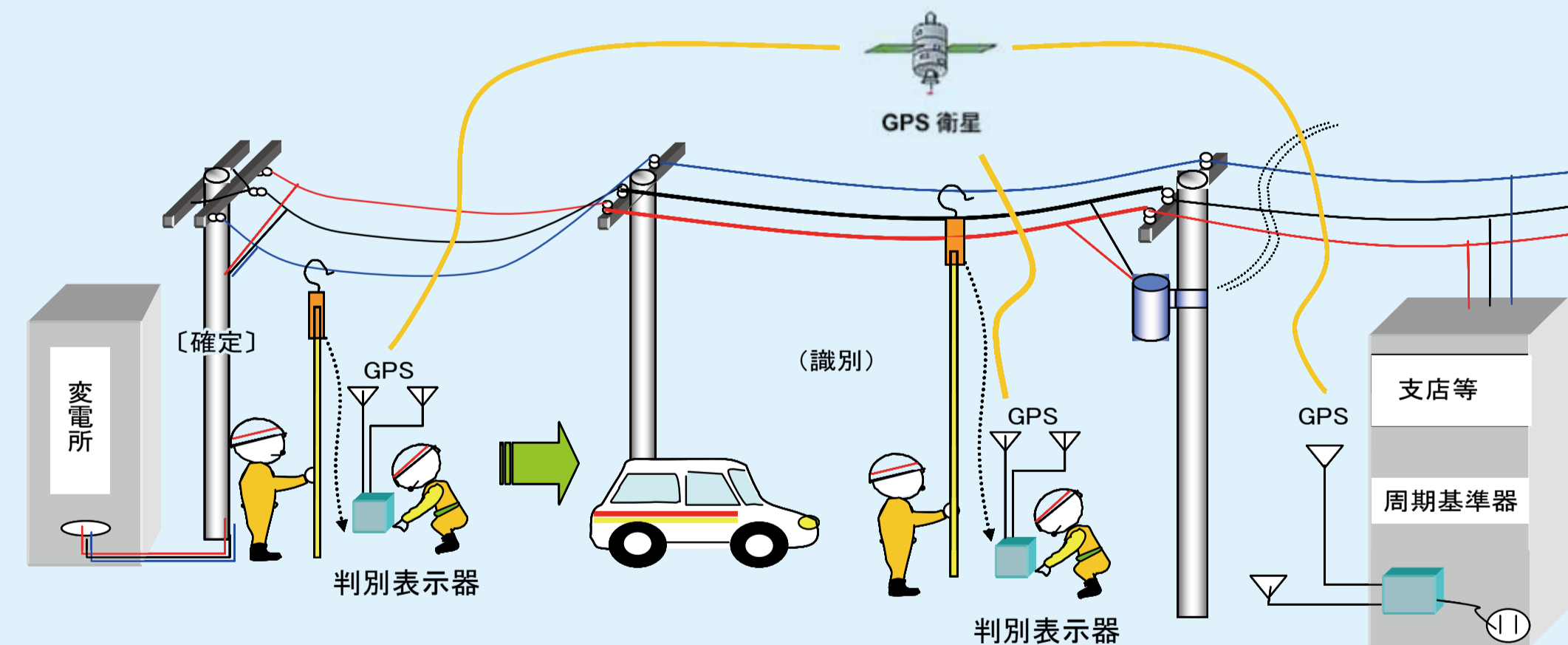
用途

- 対策必要な配電線の単相変圧器や単相高圧配電線などの接続相を調査
- 調査結果より、お客さまが偏っている相を確認
- 各相のお客さまが均等になるよう単相変圧器の接続相変更などの対策工事を計画

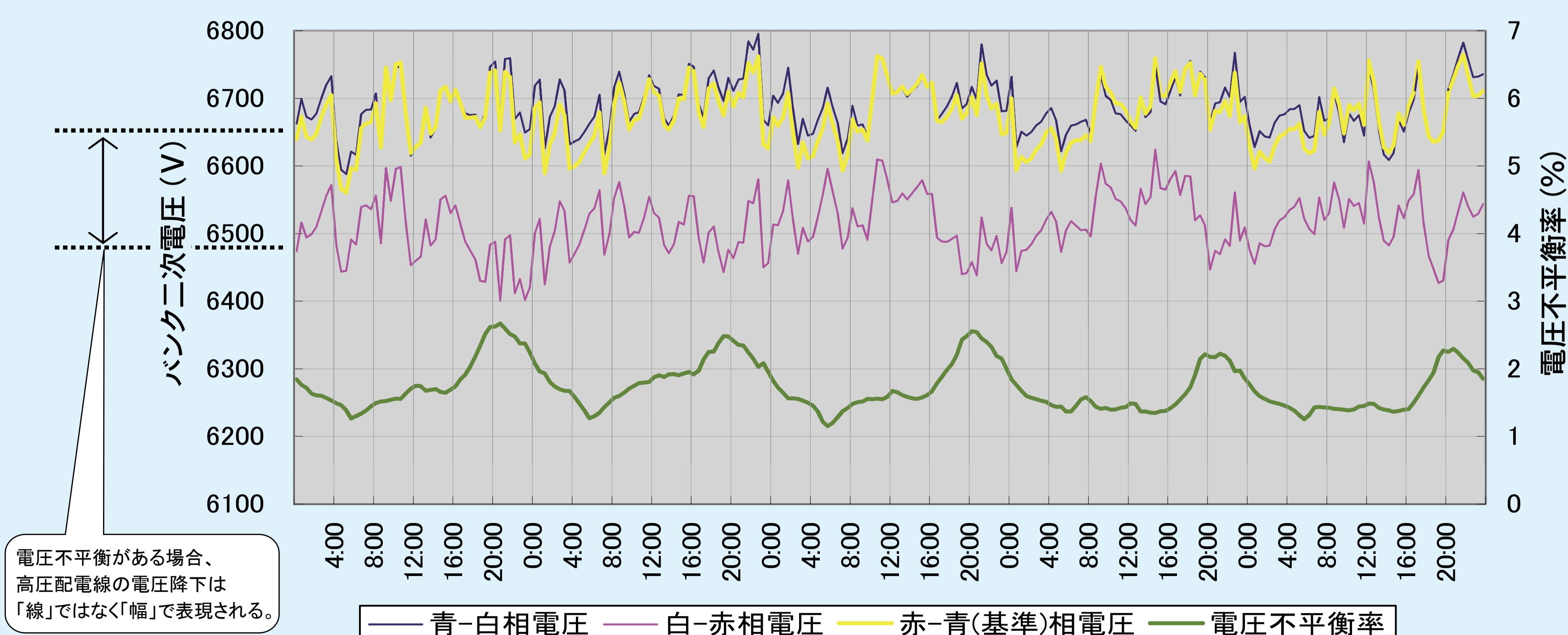


①当社における配電システムの電圧管理の考え方 (概要)

適用実績例



③センス調査装置の使用イメージ



②変電所における電圧不平衡率例



④実際の使用状況